

車力マコガレイ種苗作出試験

高橋進吾¹

目 的

つがる市車力産のマコガレイ親魚から種苗の作出試験を行い、種苗放流により日本海系群の資源造成を図る。

材料と方法

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

つがる市車力地先で漁獲された雌 9 尾、雄 6 尾、計 15 尾のマコガレイ親魚を当研究所に搬入し、平成 27 年 3 月 31 日に人工採卵・授精を行い、そのふ化仔魚を用いて仔稚魚の成長と生残を調査した。

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚を当研究所の陸上水槽を用いて平成 27 年 7 月 1 日から中間育成を行い、平成 27 年 7 月 2 日、7 月 29 日につがる市車力地先に放流した。

結果と考察

1. 種苗生産技術開発

(1) 種苗生産

ふ化仔魚 16.0 万尾 (ふ化率 88%) を用いて種苗生産試験を行った結果、平均全長 23.7mm、4.0 万尾の稚魚が得られ、生残率は 25.0% であった (表 1)。

表1 マコガレイ種苗生産結果

ふ化仔魚の收容			取り上げ稚魚				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	年月日	飼育期間	平均全長 (mm)	尾数 (万尾)	
H27.4.10	4.3	16.0	H27.7.1	82 日	23.7	4.0	25.0

(2) 中間育成

種苗生産で得られた稚魚 4.0 万尾を用いて、平成 27 年 7 月 1 日から中間育成を開始した。

陸上水槽を用いて 1~28 日間の飼育を行い、平成 27 年 7 月 2 日、7 月 29 日に平均全長 29.6~43.1 mm に成長した稚魚計 3.0 万尾を車力漁港内に放流した (表 2)。

表2 マコガレイ中間育成(陸上水槽)結果

開 始				終 了(放流)				生残率 (%)
年月日	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	使用水槽	年月日	飼育期間	平均全長 (mm)	尾数 (尾)	
H27.7.1	23.7	12,000	円型20t・1面	H27.7.2	1 日	29.6	10,000	83.3
H27.7.1	23.7	13,000	円型30t・1面	H27.7.29	28 日	43.1	10,000	76.9
H27.7.1	23.7	10,000	円型20t・1面	H27.7.29	28 日	43.1	7,000	70.0
H27.7.1	23.7	5,000	円型10t・1面	H27.7.29	28 日	43.1	3,000	60.0
合 計		40,000		合 計		30,000	75.0	

¹ 地方独立行政法人青森県産業技術センター内水面研究所